

# 附属特別支援学校におけるGIGAスクール構想を推進するためのICT環境の構築

## 1. 研究目的

2020年12月にWi-Fi環境が整備されてchromebookが導入され、本校教職員の研修も実施して、2021年4月(2021年度)より本格的に整いつつあるICT環境の中で、GIGAスクール構想を進め始めることとなった。その成果と今後の展望については、2022年3月の第10回附属学校園教員と大学教員との研究交流会にて、「附属特別支援学校のICT環境整備についての成果と今後の展望」にて取り組みの成果を報告し、2023年3月の第10回附属学校園教員と大学教員との研究交流会にて、「附属特別支援学校におけるGIGAスクール構想を推進するための環境整備」にて、取り組みの経過を報告している。今回の取り組みは、本校での今までのICT環境整備についての取り組みを踏まえながら、実習生から調査を行い、また他校と比較検証を行いながら、GIGAスクール構想をさらに推進させるためにICT環境を構築することである。

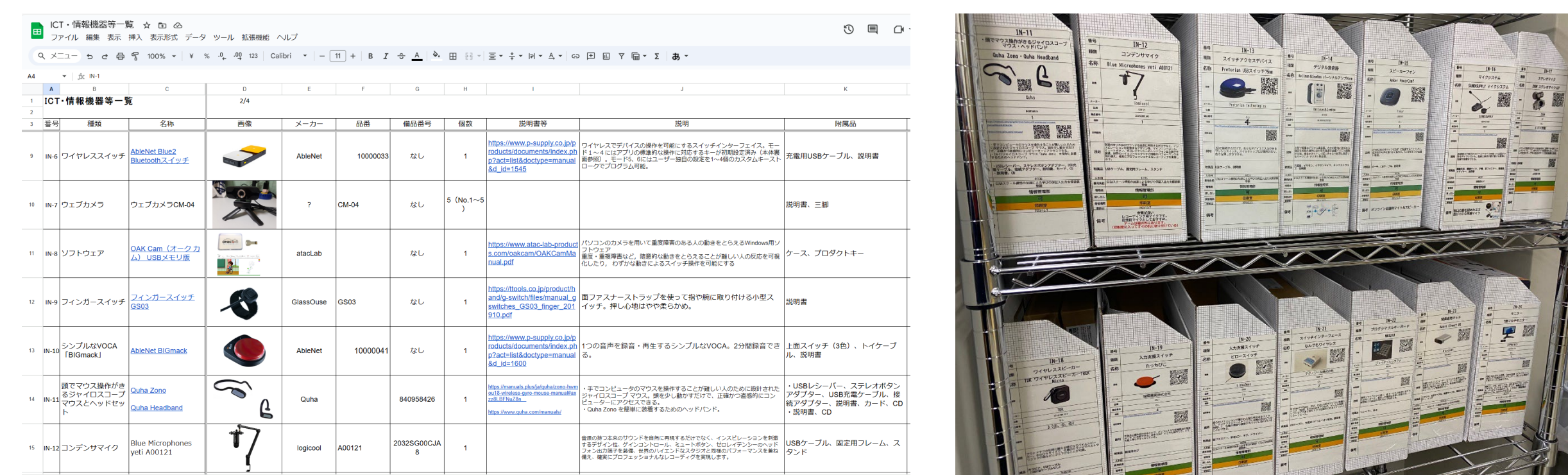
## 2. 教員研修や環境整備

時期	名称	時間	設定	対象者	講師	目的	内容
3月	伝達講習	15分	長期研修を受けた職員からの報告会「伝達講習」の中の1つ	全教員	主幹教諭	・質問紙調査の結果の共有 ・ICTを活用する目的についての共有	・事例校での質問紙調査の結果報告 ・筆者が整理した、知的障害特別支援学校におけるICT活用の目的について ・ICT活用の目的に基づいて筆者が行った授業実践の報告
4月	新転任者向け情報研修	30分	新転任者向け研修の中の1つ	新転任者	情報管理部長	・事例校の情報管理の基本を知る。	・事例校での業務に必要なネットワーク、アプリケーション等に入れるようにする。
5月	プーチン研修	10分 +希望者	職員会議直後	全教員	主幹教諭	・今後の研修でGoogle Classroomを活用できるようにする。 ・電子黒板をタッチ操作で活用できるようにする。	・情報管理部長とICT支援員の役割について ・Google Jamboardを使った教材について ・Google Classroomの設定を行う。
6月	プーチン研修	10分	職員会議直後	全教員	主幹教諭	・Google Classroomを活用に慣れる。 ・Google Jamboardを使った教材を児童生徒目線で使うことで、授業での活用イメージを持つ。	・Google Classroomを使う。 ・Google Jamboardを使った教材を使ってみる。 ・Google Jamboardの教材のコピーの仕方、権限の変更について知る。
7月	研修の実施はなし					質問紙調査の実施(中間詳細とニーズ調査)	
8月	情報研修	1時間	校内研修会	全教員	主幹教諭	・ICT活用の目的を判断して授業にICTを活用できるようにする。 ・ニーズ調査でニーズが多かったGoogle Jamboardでの教材作成、動画作成、編集のスキルを学ぶ。 ・授業でのICT活用案を作成し、実際に活用することができるようにする。	・ICT活用目的 ・Google Jamboardで教材を作る。 ・動画制作ソフトウェアClipchampを使って動画を作成する。 ・教材案をワークシートに書く(記入ある)。 ・研修後、教材案や、実際に授業で使った事例を掲示板で共有する。
10月	プーチン研修	10分	職員会議直後	全教員	主幹教諭	・Google Classroomの活用できるようにする。 ・「ICT活用のための教材・マニュアル・リンク集」を開発し活用できるようにする。	・Google Classroomの活用方法を知る。 ・「ICT活用のための教材・マニュアル・リンク集」に教員向けウェブが掲載する。
11月	プーチン研修	10分	職員会議直後	全教員	主幹教諭	・授業での自身のICT活用を振り返り、今後の活用について考える。	・自分自身がICTを活用する目的をどのように考えながら、授業でICTを活用しているのかを振り返り、今後のICT活用に生かすためのワークの案。
12月	プーチン研修	10分	職員会議直後	全教員	主幹教諭	・「ICT・情報機器等一覧」を開発し校内のICT・情報機器等を活用できるようにする(教務室の物品)。 ・ウェブサイトにふりがなを振る方法を知り、状況に応じて使い分けができるようにする。(印刷室の物品)。	・「ICT・情報機器等一覧」の開発の仕方を知る。 ・校内(教務室)にどのようなICT・情報機器等があるのかを知り、活用したい時に探して活用できるようにする。 ・ウェブサイトにふりがなを振る方法を知り(3つの方法)。 ・実際のウェブサイトにふりがなを振る方法を試してやってみる。 ・ウェブサイトにふりがなを振る方法の違いを知る。
1月	プーチン研修	10分	職員会議直後	全教員	主幹教諭	・「ICT・情報機器等一覧」を開発し校内のICT・情報機器等を活用できるようにする(印刷室の物品)。	・「ICT・情報機器等一覧」の開発の仕方を知る。 ・校内(教務室)にどのようなICT・情報機器等があるのかを知り、活用したい時に探して活用できるようにする。 ・「ICT・情報機器等一覧」の中の1つである、1つの音声録音・再生するシンプルなVOCA「BIGmack」の使い方を知る。
2月	プーチン研修	10分	職員会議直後	全教員	主幹教諭 情報管理部長	・授業での自身のICT活用を振り返り、掲示板で活用事例を共有する方法を確認する。	・授業での自身のICT活用を振り返り、掲示板で活用事例を共有する方法を確認する。
3月	プーチン研修	10分	職員会議直後	全教員	主幹教諭		

### プロジェクターと電子黒板



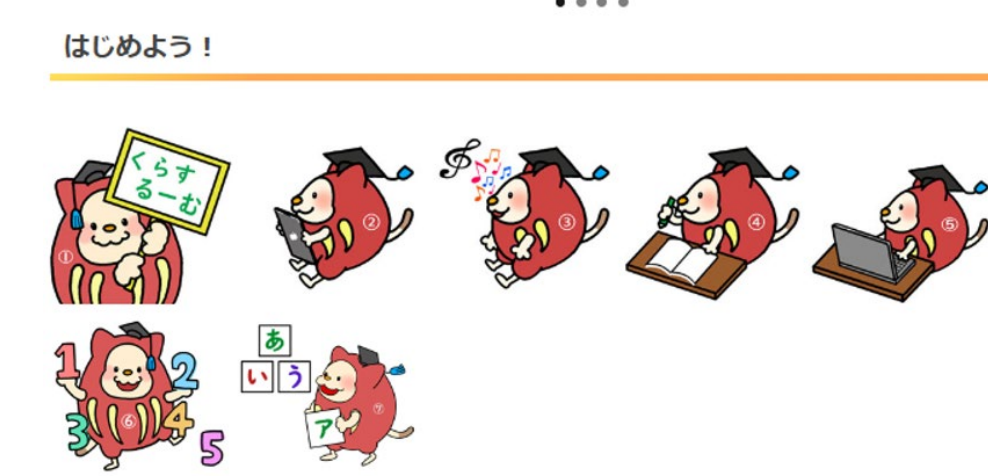
### 入出力支援装置の管理



### 入出力支援装置のリスト・検索

### 整理収納

### 専用WEBページ



### 児童生徒用



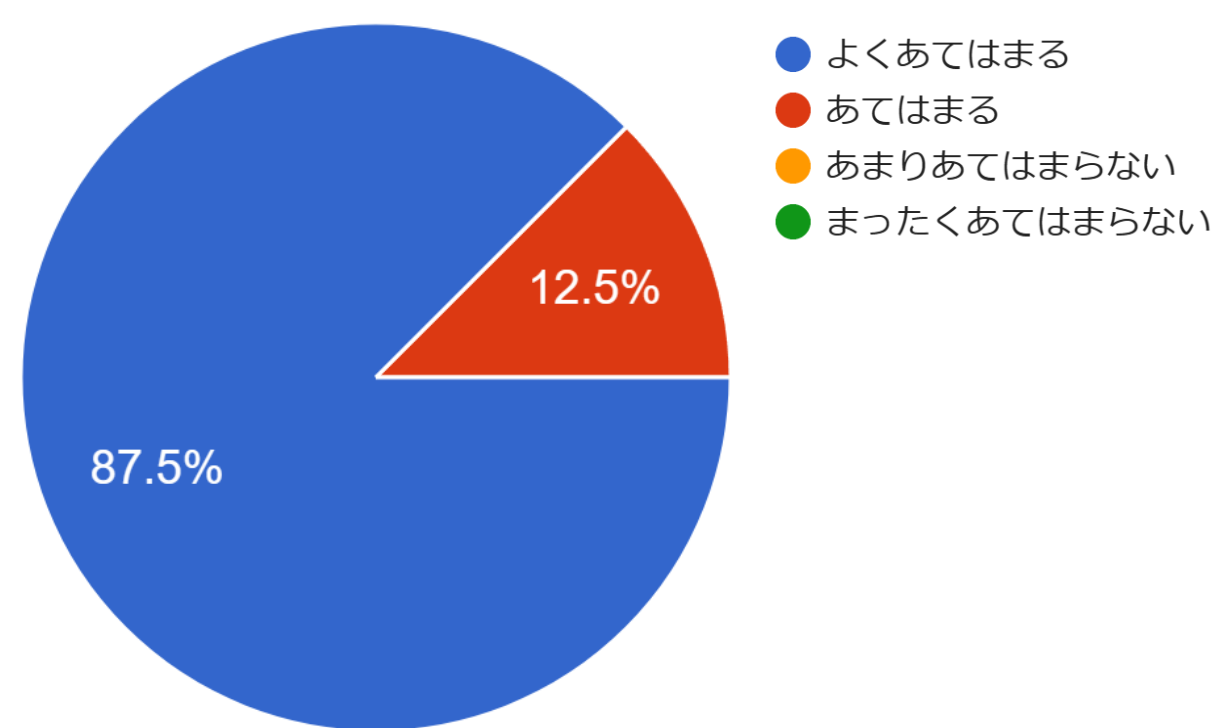
### 教員用

### 授業等での端末の活用

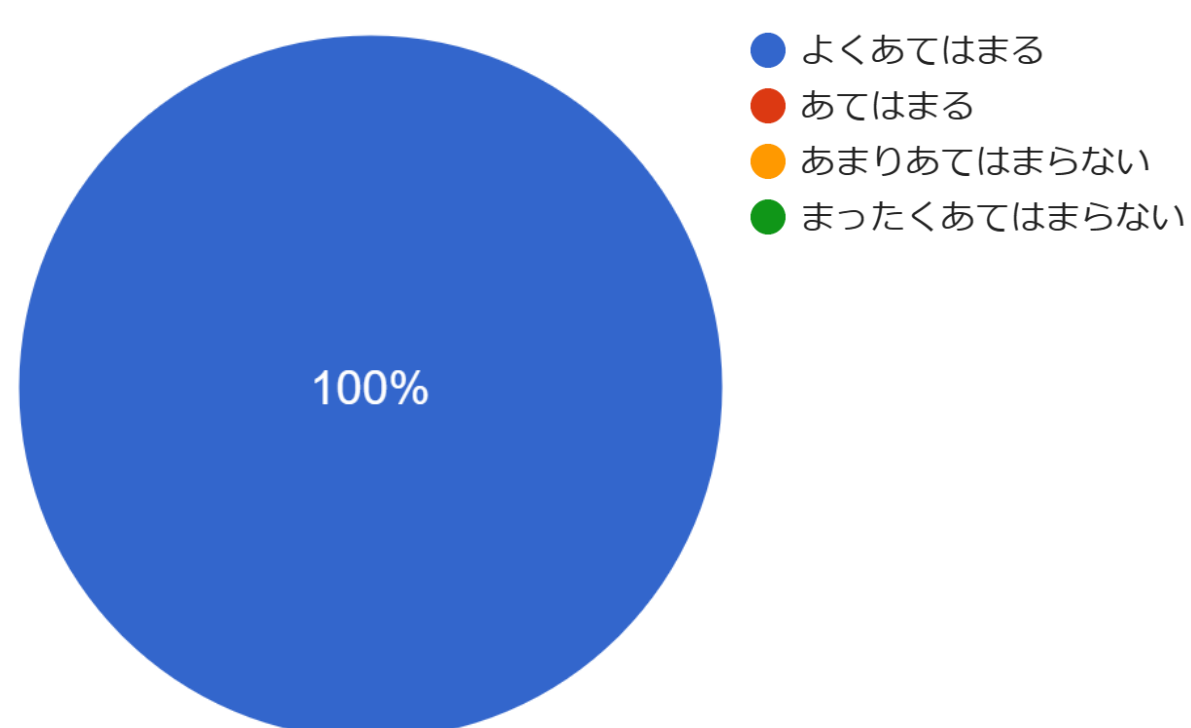


## 3. 本校教育実習生へのアンケート調査の結果

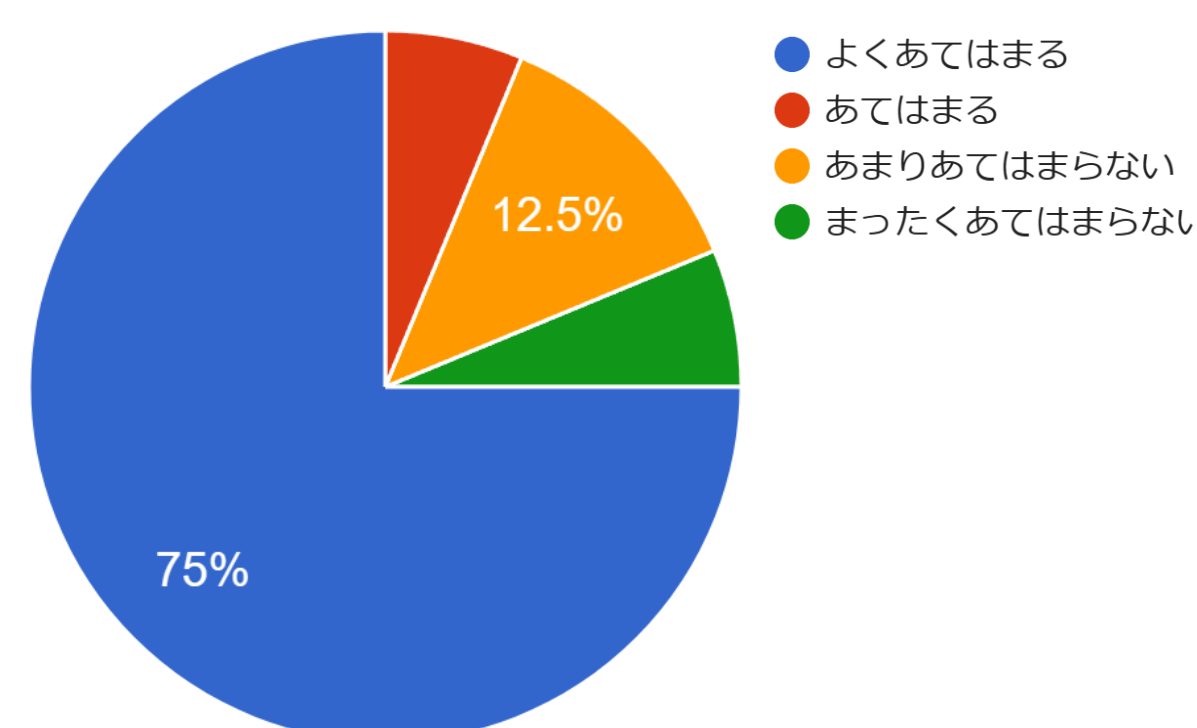
実習校は、コンピュータやインターネットなどの環境が整備されている。



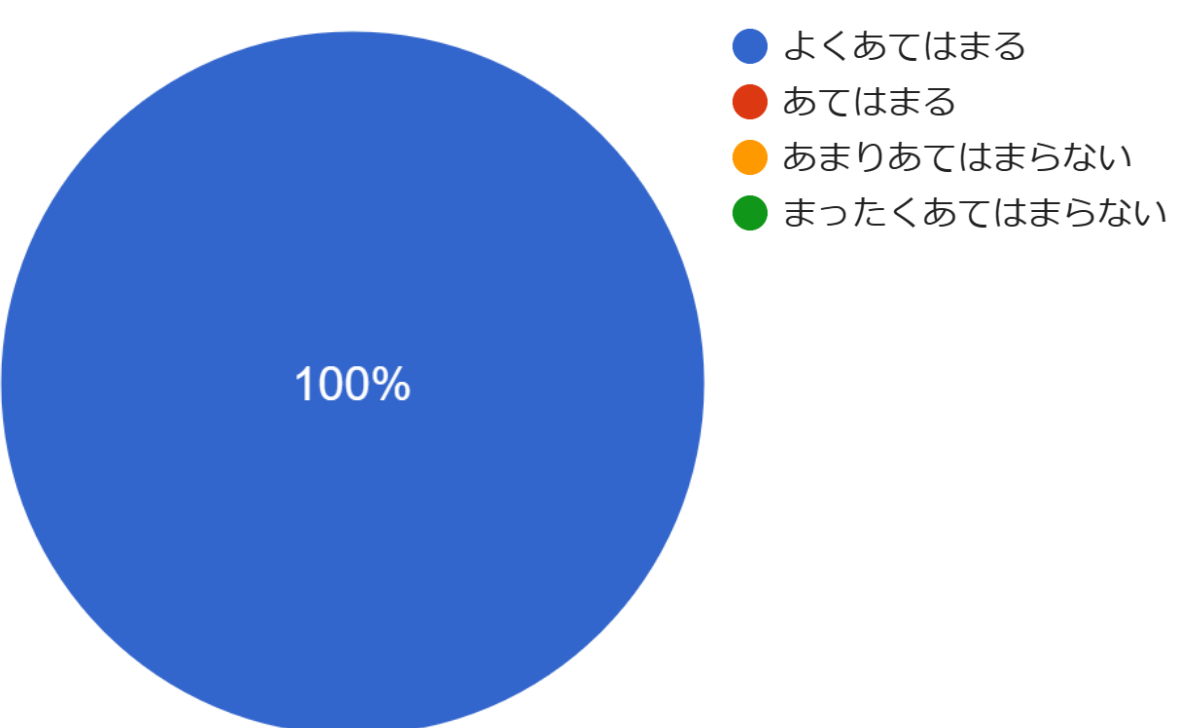
実習校の教員は、コンピュータやインターネットなどを活用している。



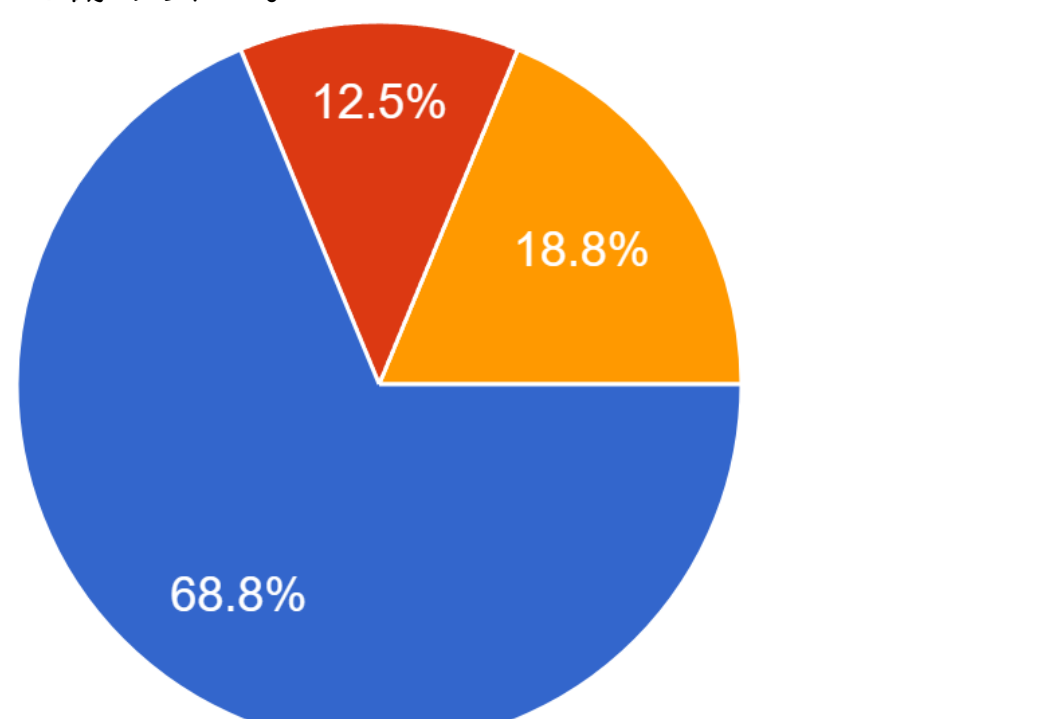
実習校の児童生徒は、コンピュータやインターネットなどを活用している。



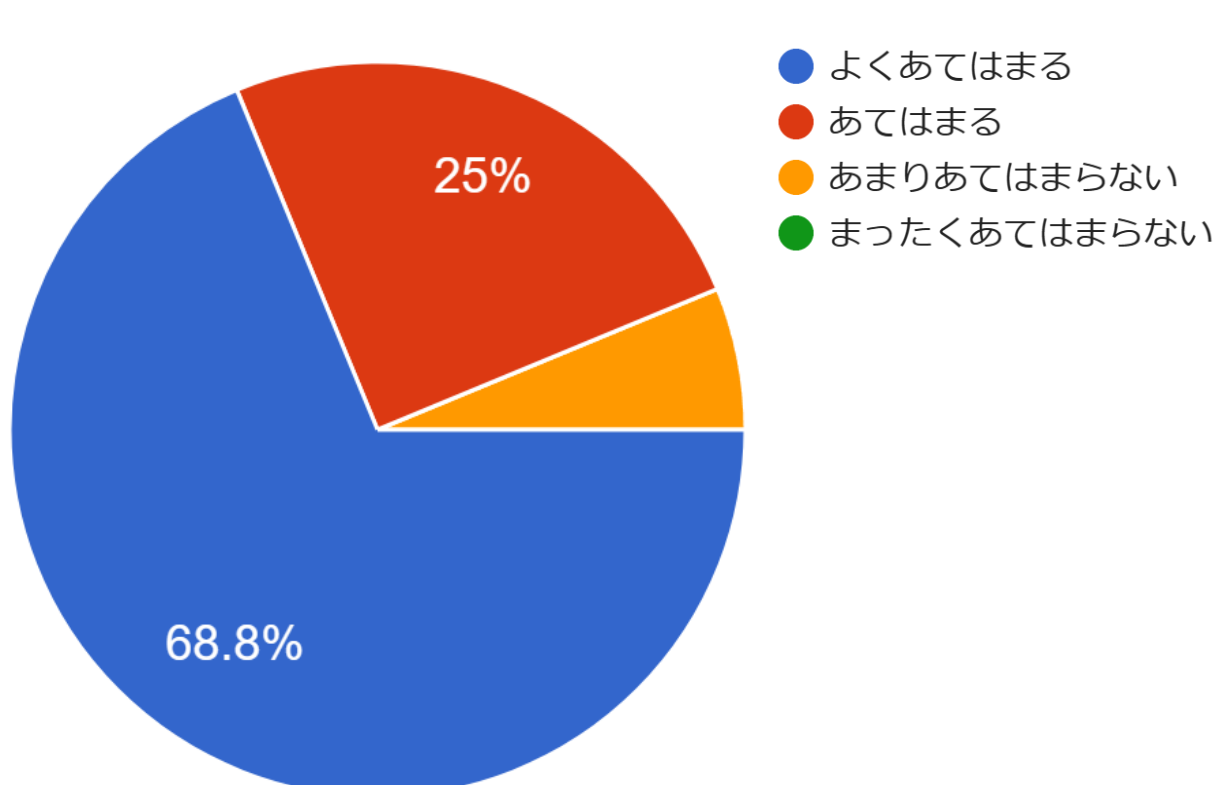
担当の指導教員や配属学級の教員らは、授業でコンピュータやインターネットなどを活用している。



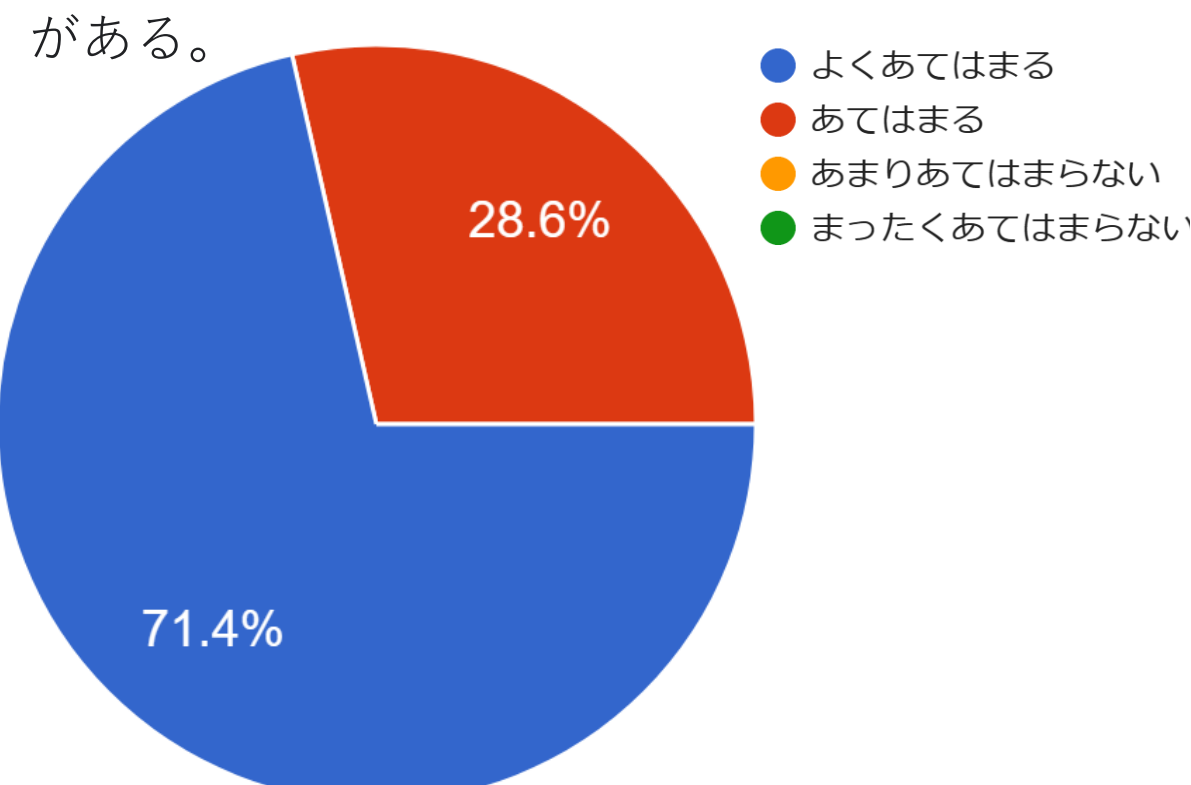
担当の指導教員や配属学級の教員らから、授業でコンピュータやインターネットなどを活用することを勧められた。



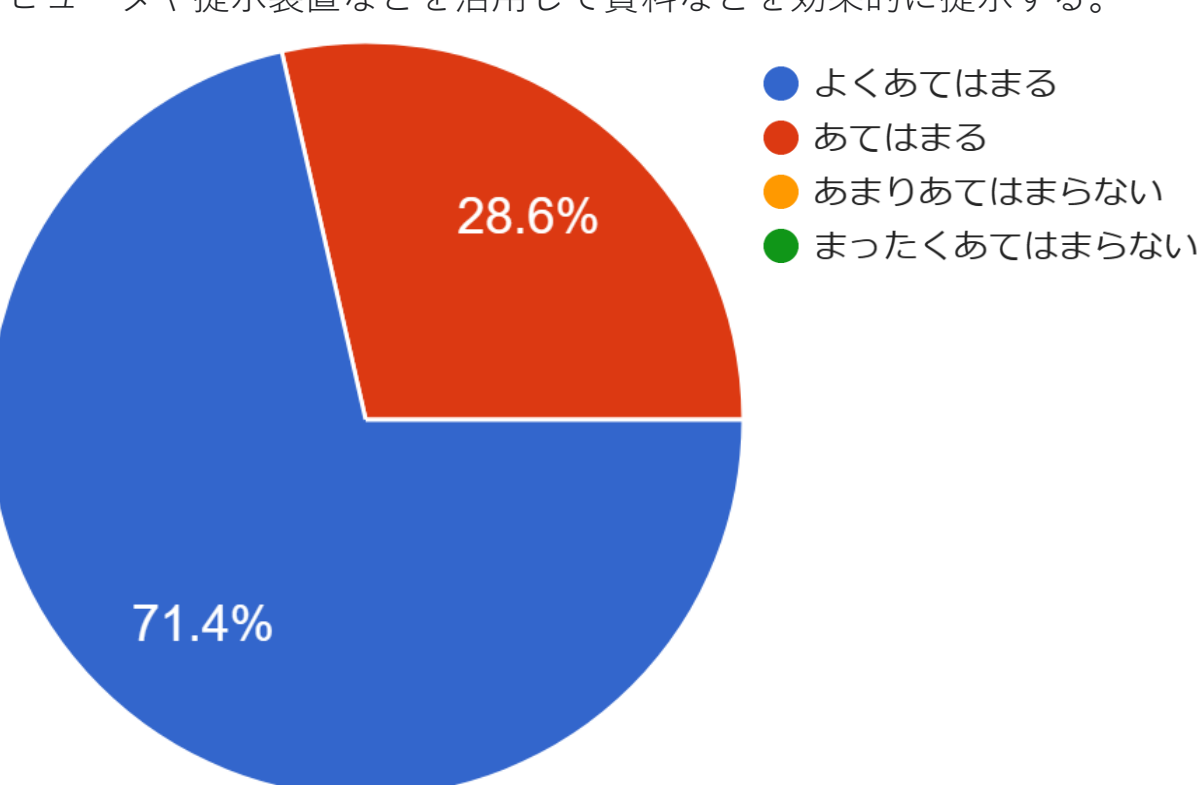
教育実習が始まってから、コンピュータやインターネットなどを活用して授業を行いたいと思った。



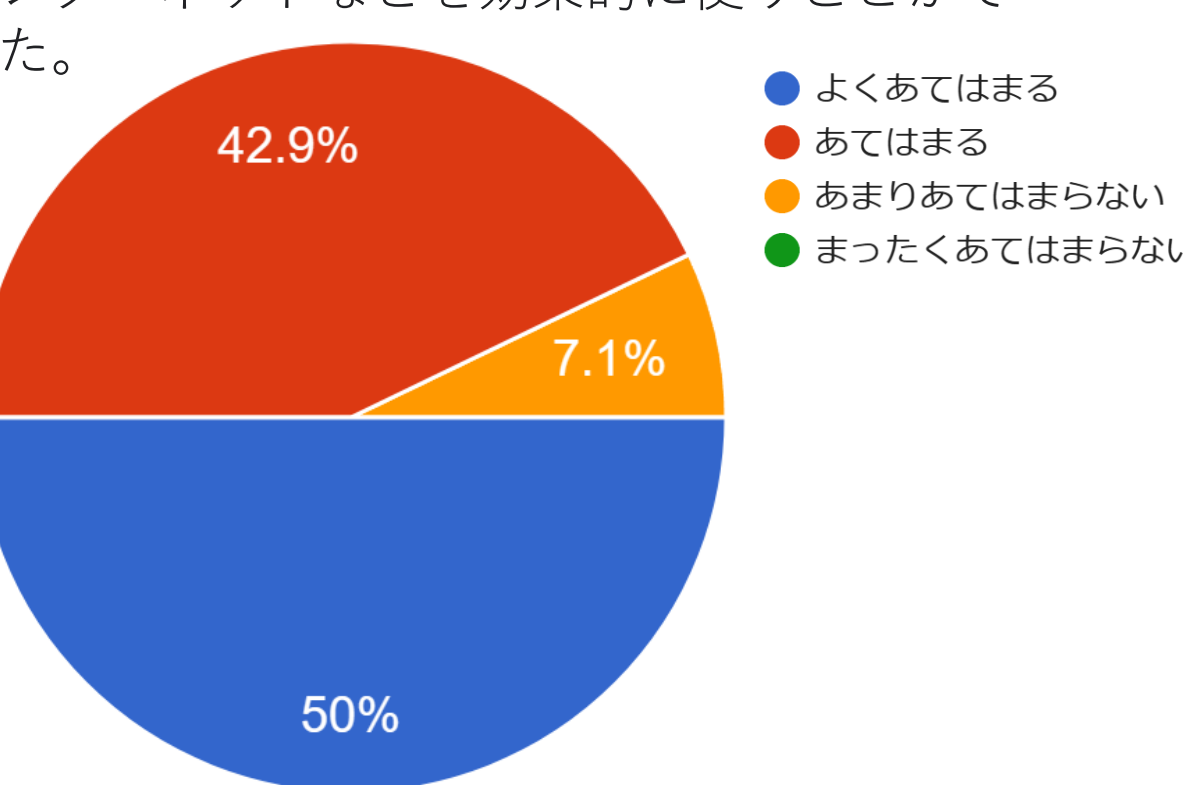
担当の指導教員や配属学級の教員らは、コンピュータやインターネットなどの活用を理解がある。



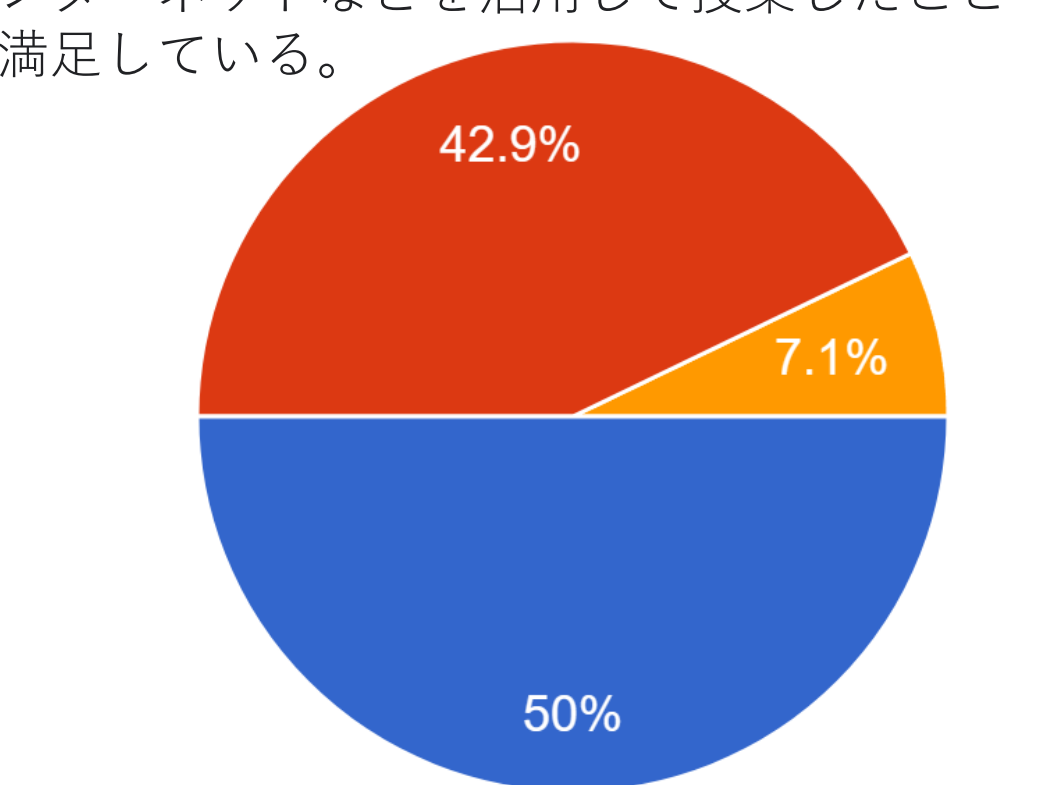
児童生徒の興味・関心を高めたり、授業の流れや課題を明確につかませたり、学習内容を的確にまとめさせるために、コンピュータや提示装置などを活用して資料などを効果的に提示する。



自身が行った授業において、コンピュータやインターネットなどを効果的に使うことができた。



自身が行った授業において、コンピュータやインターネットなどを活用して授業したことに満足している。



## 4. まとめ

教員の業務時間の短縮や業務内容の簡略化が行われる中、短時間研修を職員会議後に月1回のペースで実施することにより、教員のICT機器についての知識や技能を高めていくことができています。またICT機器が整備収納されており、使いやすい環境が作られているだけでなく、機器についての操作方法や活用例等も動画等で示されている専用WEBページで検索して使う前に確認することができることにより、GIGAスクール構想をさらに推進させることができていることが明らかとなった。

教育実習生のアンケート結果より、本校がICT環境が整備されており、教員と教員がICTを活用していることを確認することができただけでなく、教員や児童生徒の活用している様子を本校の教育実習生が見て、自身が授業を行う際にICTを活用したいという意欲を高めることができた。本校の教育実習生16名中、研究授業を行うにあたってICTを活用した人数が14名であった。水守ら(2023)では、「教育実習中にあまりICTを活用することができなかった」とあるが、本校の教育実習生のほとんどがICTを活用しただけでなく、授業において効果的に扱っていたことが明らかとなった。

## 5. 謝辞

今回の実践を行うにあたり、令和5年度 教育・研究活性化推進経費(大学・附属学校園連携事業推進経費)を採択して実施させていただきました。ここに記して感謝を申し上げます。